

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年3月31日

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	A
横断的な課題	-				
地域重点政策	1 北アルプスの恵みと人々の知恵を活かした産業の振興				北アルプス地域振興局
実施機関	北アルプス農業農村支援センター			担当課	所属 農業農村振興課
事業名	地消地産推進事業			電話	0261-23-6511
				E-mail	kita-nosei@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	コロナ禍により取扱量が減少している「信州サーモン」について、生産者と実需者を結びつける情報交換等の場を設け、消費を促進し、地消地産を進める。			
	現状と課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、飲食店・宿泊事業者からの「信州サーモン」の需要が減少し、取扱量が落ち込んだ。 そのため、令和2年度には、小中学校へ給食の食材として「信州サーモン」を提供し需要の拡大を図るとともに、白馬村内産信州サーモンへの関心を高めてもらうため、白馬中学校と連携し生産者による食育授業を実施した。 今後は、信州サーモンを地域特産品として消費者への認知度を高め、地消地産及び地産地消を進めるため、実需者に生産現場を知ってもらい、地域の魅力ある食材として利用の拡大を図ることが必要である。			
	内容 (変更後の内容)	1 産地見学会の開催 主に日帰り飲食店を対象に「白馬村産信州サーモン活用研修会」を12月2日に開催(村有線やHPで周知)し、8事業者10名が参加、養殖場の見学や生産者による白馬村産信州サーモンの養殖の経緯や工夫、魅力などについて研修を行った。 また、大北調理師会会長をコーディネーターに、取り扱いのコツやメニューへの活用方法など情報交換や用意したサンプルの試食を実施した。 2 北アルプス地域らしいメニューの開発・PR 消費者の白馬村産信州サーモンに対する認知度向上と消費拡大を図るため、研修会参加事業者へ信州サーモンのサンプルを提供しオリジナルメニューの開発・提案を依頼した。 2事業者から提案のあったオリジナルメニューは、今後作成する広報媒体へ掲載するなど活用する。			
	事業期間	令和3年12月		～	令和4年3月
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	1 産地見学会の開催	管内宿泊、飲食店関係者等実需者を対象とした見学会、加工実演及び意見交換会	6,200	報償費6,200円(講師謝金2名) ①3,100円×1.5H ②3,100円×0.5H 実演用サーモン代は無料	
	2 オリジナルメニューの開発	取り扱い意欲のある実需者へサーモンのサンプルを提供し、地域食材を組合せたメニューを開発する。	7,920	需用費7,920円 【@5,000円:メニュー考案用サーモンサンプル費用×2事業者】	
3 広報媒体の作成	村産信州サーモンが「食べられる店」として広報媒体を使ったPRを行う。	0	作成見合わせ。今後、時期を見て検討。		
合計			14,120		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	産地見学会の参加者数		10者	8者	○ 達成
	オリジナルメニューの開発事業の参加事業者数		8件	2件	○ 一部達成
	「食べられる店」への参加事業者数		8件	0件	● 未達成
事業実績・成果	①地産地消に関心がある実需者の間で「白馬産信州サーモン」の魅力について意識を共有できたことから、今後、実需者による情報発信が期待される。 ②研修会における情報交換により、新たなオリジナルメニューが提案された。				
今後の方向性	①「信州サーモン」を使った「食べられる店」のPR支援をとおした地産地消の推進 ②宿泊事業者(修学旅行など)への地元農産物活用支援				